

政策の柱  
政策基盤

行政経営の推進

## 政策 31 デジタル技術を活用した 持続可能なまちづくり

### SDGs 関連分野



主管課 DX推進課

関係課 各課

#### ★ 政策の目指す姿

市民や事業者等と協力しながら、デジタル技術を活用して新たな課題への対応や市民生活・地域競争力の向上を図り、将来にわたって持続可能なまちを実現する。

#### ★ 政策の達成目標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R12)
滑川市LINE公式アカウントの 友だち登録者数	5,400人	⇒ 10,000人

#### ★ 政策の基本方針（課題と方向性）

現状・課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル社会が進展する一方、デジタル機器の活用が困難な方が一定数存在しています。</li> <li>企業活動を行う上でも、DXにより現状の可視化を行い、ESG経営に対応することが重要となっています。</li> <li>人口減少が進展する中で、より少ない職員でも自治体運営が可能となる効率的な行政運営を確立する必要があります。</li> <li>持続的な行政運営を行うためにも、市民や市内外の事業者等、幅広い関係者との連携・協力がが必要です。</li> </ul> 

方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もがデジタル社会の恩恵を受けることができるよう、デジタル技術の活用を支援するとともに、利用者自身がデジタル技術を活用できなくても、デジタル技術を活用したサービスを提供することで、それぞれの能力に応じた社会参加を促進します。</li> <li>中小企業や個人事業主がDX・ESGに対応し選ばれ続ける事業者となるため、取組を啓発・支援します。</li> <li>デジタル技術の活用による事務処理の自動化や業務プロセスの見直しによる効率化を推進し、持続可能な形で行政サービスを提供し続ける体制を構築します。</li> <li>共創ポイント事業の実施により、市民をはじめ市内外の幅広い関係者が滑川市の取組に興味を持ち、地域での活動を行う契機を創出します。</li> </ul>

#### ★ 政策の個別計画・関連する計画

個別計画	滑川市DX推進計画
------	-----------

## ★ 政策の内容

### ① デジタルを活かせる基盤の整備

総合戦略 ③

指標名	現状値	目標値 (R12)
スマホ等の使い方を聞ける場	(R6) 3カ所	⇒ 9カ所
マイナンバーカード保有率	(R6) 82.4%	⇒ 99.9%

(主な取組)

- 誰もがデジタル社会の恩恵を受けることができるよう、高齢者等に対しスマホ等のデジタル活用教室を開催します。
- 地域の産業や未来を担うデジタル人材の育成に取り組みます。
- 中小企業・個人事業主のDXを支援します。

### ② デジタル技術・データを使ったスマートシティの実現

総合戦略 ③

指標名	現状値	目標値 (R12)
オープンデータとして公開するデータ数	(R6) 19件	⇒ 100件
共創ポイント事業の参加者数	(R6) -	⇒ 1,000人

(主な取組)

- センサーやカメラ等によりデータを収集し、迅速な状況判断やデータに基づく政策立案を推進します。
- 市が保有するデータを自由に活用して、新たなサービスの創出や防災対策、利便性の向上等につなげられるよう、オープンデータやGIS（地理情報システム）として公開するデータを拡充します。
- 共創ポイント事業の実施により、ボランティアや行政参画等のきっかけづくりを行うとともに、市内外の幅広い関係者と連携しながら様々な地域課題の解決に取り組みます。

### ③ 行政事務の効率化と市民目線の行政サービス展開

総合戦略 ③

指標名	現状値	目標値 (R12)
オンライン申請に対応する手続件数	(R6) 100件	⇒ 150件

(主な取組)

- 幅広い行政手続にオンラインで対応できるよう、対象手続の拡大やデジタル完結、個人認証、オンライン決済等を推進します。
- LINE公式アカウントにより、個々のニーズに沿った情報発信を行うほか、幅広い行政サービスを提供します。
- 国・県と歩調を合わせたアナログ規制の見直しを行い、生産性の向上等を推進します。

## ★ 協働の視点（市民・事業者等の役割）

市民・団体	デジタル機器・サービスの利活用 マイナンバーカードの取得・活用 オンラインによる行政手続の積極的な利用
事業者等	キャッシュレス決済への対応 市との連携・協力による社会課題の解決 公開情報の積極的な活用による、新たなサービスの開発・提供等に向けた取組



## 政策 32 市民との対話による 開かれた市政運営

主管課 企画政策課

関係課 総務課

### ★ 政策の目指す姿

市民との対話により市民のニーズ等を把握し、適切な市政運営を行う。

### ★ 政策の達成目標

指標名	現状値 (R6)	目標値 (R12)
市長と語らんまいけ等 市民との対話をする場への参加者数	150人/年	⇒ 300人/年

### ★ 政策の基本方針（課題と方向性）

現状・課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズを汲み上げるとともに、官民協働・透明性の確保を目的とした行政情報の公開、時代の変化に適応した広報手段の活用が重要になっています。</li> <li>多様化する市民のニーズや時代の変化に対応する市職員が求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する市民のニーズや時代の変化をとらえ、自ら新たな課題を発見し、対話を通じて答えを作り出すことのできる市職員を育成します。</li> <li>SNSを活用した市民との双方向の情報発信・受信に努め、市民の声が届きやすい行政運営を実践します。</li> </ul>

### ★ 政策の個別計画・関連する計画

個別計画	滑川市行政改革大綱実施計画
------	---------------



★ 政策の内容

① 的確に市民のニーズを把握する組織改革

指 標 名	現状値	目標値 (R12)
職員版市長と語らんまいけ 及び職員セッションの開催回数	(R7見込) 2回/年	⇒ 4回/年

(主な取組)

- 民間企業との交流等により、市民のニーズを的確に把握し行動することができる組織改革を推進します。
- 最適な行政運営の継続のため、市民のニーズに柔軟に対応できる仕組みを構築します。
- 多様化する市民のニーズを的確に捉え、行動できる職員の育成に努めます。
- 職員版市長語らんまいけと職員セッション等を通じて、市長と市役所職員間での市民のニーズや課題、あるべき姿、やるべきこと等の共有を行います。

② 開かれた行政の推進

総合戦略 ③

指 標 名	現状値	目標値 (R12)
市長と語らんまいけの開催回数	(R6) 7回/年	⇒ 10回/年
滑川市公式SNS等の登録者数	(R6) 6,882人	⇒ 12,000人

(主な取組)

- 市長と語らんまいけや市長へのメール等、多様な広聴手段により住民の声を市政に反映します。
- 広報誌に加え、SNS・ホームページ等、それぞれの媒体の特性を活かし、情報内容に応じたより効果的な広報手段を検討します。
- 市民の代表である市議会と協力し、滑川市のあるべき姿について議論します。
- 市のビジョンや政策に関する市民セッションを開催し、市民と市のあるべき姿について共通理解を図ります。

★ 協働の視点 (市民・事業者等の役割)

市民・団体	市長と語らんまいけやパブリックコメント、審議会への参画等を通じた行政への意見
-------	--



↑ 市長と語らんまいけ

政策の柱  
政策基盤

## 行政経営の推進

### SDGs 関連分野



# 政策 33 市職員の能力を活かす 組織づくり

主管課

財政課

関係課

D×推進課、総務課、公民連携課

### ★ 政策の目指す姿

職員の能力を活かした計画的・効果的な行財政運営が行われている。

### ★ 政策の達成目標

指標名	現状値 (R5決算)	目標値 (R12)
将来負担比率	—	⇒ —

### ★ 政策の基本方針（課題と方向性）

現状・課題	方向性
<ul style="list-style-type: none"><li>生産年齢人口減少・高齢社会の進行により、税収の減少や社会保障関係経費の増加が見込まれます。</li><li>人口減少が見込まれる中、老朽化した公共施設の維持管理費の増大が想定されており、現在の公共施設の量や質をそのまま維持することは難しい状況にあります。</li><li>多様化する市民のニーズや時代の変化に対応するため、組織の活性化や機能強化、行政手続きの効率化が求められています。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>徹底した経費の節減と安定した財政基盤の構築、行政評価の効果的な活用により、健全な行財政運営を行います。</li><li>公共施設等総合管理計画等に基づき、施設の適切な維持管理等を実施します。</li><li>組織の統廃合や効率的な人員配置、職員一人ひとりの資質向上を図るとともに、ICTの活用によるスマート自治体への転換や行政手続きの簡略化を進めます。</li></ul>

### ★ 政策の個別計画・関連する計画

個別計画	
	滑川市行政改革大綱実施計画、滑川市中期財政計画、滑川市公共施設等総合管理計画、滑川市職員人材育成基本方針

## ★ 政策の内容

### ① 計画的な行財政運営

指 標 名	現状値	目標値 (R12)
実質公債費比率	(R5決算) 4.7%	⇒ 7.9%以下
地方債残高※/標準財政規模 (※臨時財政対策債等を除く)	(R5決算) 41.3%	⇒ 57.8%以下

(主な取組)

- 健全な財政に関する条例に基づき計画的な財政運営に努めるとともに、地方債の借入抑制や基金残高の確保等を行います。
- 市税や各種使用料等の収納率向上に努め、歳入の確保を行います。
- 公共施設等総合計画に基づいた施設の長寿命化や公共施設の統廃合について検討します。
- 総合計画を念頭においた行政経営システムに基づき、中長期的な戦略や短期的な目標を掲げ、より積極的・効率的な行政運営に努めます。
- 新規事業に取り組む時には、スクラップ&ビルドの考え方にに基づき、事業の見直しを図ります。

### ② 組織の強化

指 標 名	現状値	目標値 (R12)
職員研修の参加人数	(R7見込) 延べ500人/年	⇒ 延べ500人/年
職員によるプロジェクトチーム数	(R7見込) 3件	⇒ 5件

(主な取組)

- 機構改革やプロジェクトチーム等を活用し、柔軟で強靱な組織づくりを図ります。
- 人事評価制度による適正評価や各種研修の充実強化を行い、職員の政策形成能力や職務遂行能力の向上に努めます。
- 民間の経営感覚を取り入れた行政運営を推進します。
- 職員が市長に政策提案できる環境づくりをします。



↑ 職員研修